土木学会土木情報学委員会「インフラオープンデータ・ビッグデータ研究小委員会（仮）」

委員募集

■趣旨

2010年代に入り、様々な分野でオープンデータやビッグデータに関する取組が活発になり、アイデアソン、ハッカソン、データチャレンジのようなイベント（例えば、アーバンデータチャレンジ（※1））や、オープンデータカタログサイト（※2）、G空間プラットフォーム（※3）等、データプラットフォームについても充実しつつあります。

しかしその一方で社会インフラ、例えば道路、河川、都市、上下水道、住宅、港湾、バス、鉄道、あるいは土木工事そのものや国土、地形、気象、防災等についてもデータはとくに実務の現場を中心に、徐々には増えているものの、まだまだ、データをフル活用して少しでもインフラにおける生産性の向上に至る事例は多くないように思われます。

そこで教員・学生・産官含め、全国の学会活動に関わる関係者の認知を向上し、裾野を広げることを目的として、インフラ関係のデータを事業に関わる関係者と連携して提供頂き、研究・教育・開発活動等への活用を試みる活動を行います。

（※1）各地域のデータを課題解決につなげることを目的に、毎年都道府県ブロック単位でコーディネータを募集し、各種イベント開催や作品募集を行っていくイベント（<http://urbandata-challenge.jp/>）

（※2）二次利用が可能な公共データの案内・横断的検索を目的としたオープンデータのカタログサイト（<http://www.data.go.jp/>）

（※3）産官学が保有する特性・分野別に集約された様々な地理空間情報について、利用者が統合的にワンストップで検索・閲覧し、情報を入手・利用することを可能にするプラットフォーム（平成28年度にG空間情報センターとしてオープン予定）

■活動概要

・期間：平成28～29年度（2か年）

・開催頻度：1～2か月に1回程度開催

・イベント：年に2～3回程度、公開形式のシンポジウムや学生等でも気軽にデータ活用等を経験できるワークショップを開催。

・委員：定員30名程度（ただしデータ収集あるいは提供、データ利活用、イベント運営等のどれかを積極的に行えるかた。学生も歓迎！）。  
※遠方のかたでもスカイプ参加・旅費支給等、配慮いたします。  
※応募者が定員を超えた場合、オブザーバ等での参加をお願いする事があります。

・幹事：関本義秀（東京大学生産技術研究所准教授）  
小林亘（東京電機大学教授）  
今井龍一（東京都市大学准教授）

・応募締切：平成28年4月20日（4月下旬に準備会を開催予定です）

・応募先：関本宛（[sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp)）にメイルで御連絡頂ければと思います。

以上